

保護者の皆様

弥富市立大藤小学校長  
櫻井 尚史

### 令和7年度 学校評価の結果について

余寒の候、保護者の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、令和7年度の学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。その集計結果を、下記のようにお知らせいたします。

#### 記

#### 1 環境・安全について

保護者の評価は、「よりよい生活習慣を身につけるための指導をしている」については、「そう思う」「やや思う」合わせて90%でした。また、「学校の施設や設備」については64%でした。「登下校の安全」については、「そう思う」「やや思う」が58%で、昨年度と比較し、-16%でした。

登下校については、毎日多くの保護者や地域の方々に見守っていただき、ありがとうございます。「安全に登下校できている」について、児童の評価としては、「そう思う」「ややそう思う」が94%であり、昨年度と比較し+6%であり、児童の意識は高く、安全に登下校できていると考えていることが分かりました。一方で、保護者の評価は58%と低く、安全な登下校について子どもたちに考えさせ、意識させて、指導をしていく必要があります。

学校の施設や設備については、市当局と相談しながら、すすめていきます。

#### 2 生活について

保護者の評価は、「あいさつができる」については「そう思う」「ややそう思う」合わせて51%、「相手の気持ちを考えた言葉遣いや行動」については、70%でした。また、「学校が楽しいと言っている」については75%、「先生は、子どもの話を聞いている」については71%、「先生は、家庭への連絡をしている」については88%、「望ましい食習慣の指導をしている」については82%でした。昨年度と比較し、「あいさつができる」は-10%、「先生は、子どもの話を聞いている」は-7%、「望ましい食習慣の指導をしている」は-8%でした。

「あいさつ」についての児童の評価は「そう思う」「ややそう思う」が76%。「相手の気持ちを考えた言葉遣い」についての児童の評価は「そう思う」「ややそう思う」が84%であり、昨年度と比較し、-6%でした。児童は、あいさつや相手を考えた言葉遣いができていると考えているが、昨年度より-6%となっていることから、今一度、相手に伝わるよりよい言葉遣いについて考えさせる必要があります。

#### 3 学習・行事について

保護者の評価は、「楽しく、分かりやすい授業」と「その学年の基礎基本を身に付けている」につい

ては、「そう思う」「ややそう思う」が合わせて75%、昨年度より-7%でした。「子どもは本をよく読んでいる」については「そう思う」「ややそう思う」が合わせて34%、昨年度より-8%でした。

「聞く姿勢」「自分の思いを言葉で伝える力」については、「そう思う」「ややそう思う」が57%、昨年度より-6%でした。また、「学校行事を通して子どもたちの協力や認め合う心を育もうとしている」については、「そう思う」「ややそう思う」が合わせて78%、昨年度より-20%でした。

児童は「本をよく読んでいる」について、「そう思う」「ややそう思う」が合わせて56%と評価していますが、昨年度より3%低い結果となり、昨年度に引き続き低くなりました。また、保護者の評価と差がありました。毎日の朝の読書の時間を大切にするとともに図書委員による読書の啓発活動を読書に親しむ機会にできるようにしていきます。

「自分の思いを言葉で伝える力」については、児童の評価は68%と他の項目に比べ低く、また、昨年度より7%低くなっています。自分の思いを伝えられる児童の育成について学校として改めて考えていく必要があります。

児童の評価は、「学校行事はみんなと協力して楽しく取り組めた」については、「そう思う」「ややそう思う」が合わせて96%、昨年度より+10%でした。児童にとって楽しみの一つになっていることが分かりました。しかし、「授業は楽しい、分かりやすい」については79%、昨年度より-6%となり、授業での楽しさを味合わせるようにしていく必要があります。

#### 4 連携・その他

「学校の様子をホームページやたよりで伝えている」は「そう思う」「ややそう思う」合わせて、93%で昨年度より-1%、「病気やけがに適切に対応している」については、76%で昨年度より-8%でした。また、「気軽に相談できる」については、76%で昨年度より-8%、「子どもの思いや悩みに耳を傾けている」については65%で昨年度より+2%でした。

「ホームページやたよりで伝えている」については、高評価をいただきました。今後も子どもたちの様子を情報発信するように努めてまいります。

「病気やけがに適切に対応している」「気軽に相談できる」については、昨年度よりポイントを下げる結果となりました。「子どもの思いや悩みに耳を傾けている」とともに、保護者と学校のさらなる協力を努め、児童の健やかな成長を促していきます。

保護者の評価は、多くの項目で「そう思う」「ややそう思う」が70%をこえる回答をいただきました。また、児童の評価は、80%をこえる項目が多数あり、児童が学校生活に前向きに取り組んでいる様子がわかりました。前向きに取り組むことができる児童のよりよい成長を促すためにも児童一人一人の様子を丁寧にみながら、教職員の力量向上研修に努めて、適切な指導ができるようにしていくことが大切だと思います。今回の結果をもとに、よりよい大藤小学校を目指して改善に努めてまいります。

これからも保護者の皆様と連携しながら、学校教育目標「かしこく やさしく たくましく」を目指して、様々な活動を行っていくことができるようにしていきたいと思っております。

今後もしよろしくお願ひいたします。